

多面的機能発揮促進事業に関する計画（概要版）

平成27年 8月31日
伊達市土づくり推進協議会
会長 佐藤 哲

1 多面的機能発揮促進事業の目標

1. 現況

本地域は、北海道の南西部に位置し、四季を通じて温暖な気候の伊達地区と涼しい気候の大滝地区との組み合わせで、約70種類の野菜を生産しています。

近年の消費者のニーズの多様化、特に安心・安全な農産物へのこだわりや農産物の生産過程に対する意識の高まりに対応することが必要である。

2. 目標

1を踏まえ、本地域では、カバークロップ・有機農業に取り組むことにより、農用地や生物多様性を保全し、多面的機能の発揮の促進を図ることとする。

2 多面的機能発揮促進事業の内容

①事業名 環境保全型農業直接支払交付金

②実施区域 別添実施区域位置図のとおり

③事業内容

- ・化学肥料及び化学合成農薬の使用を地域の慣行から原則として5割以上低減する取組とカバークロップを組み合わせた取組（カバークロップの取組）
- ・有機農業の取組（化学肥料及び農薬を使用しない農業）

④活動内容

- ・自然環境の保全に資する農業の生産方式に関する検討会の開催

3 多面的機能発揮促進事業の実施期間

- ・平成27年度から平成31年度（5年間）

4 農業者団体等の構成員に係る事項

- ・会長 伊達市農業協同組合代表理事組合長
- ・副会長 伊達市経済環境部長
- ・委員 胆振農業改良普及センター所長
伊達市農業協同組合副組合長
伊達市農業協同組合畑作委員長
伊達市農業協同組合野菜委員長
伊達市農業協同組合参事
伊達市農業協同組合生産販売部長
伊達市米麦改良協会副会長
伊達市生乳共販運営委員会副会長
伊達市和牛改良組合長
環境保全型農業に取り組む者代表